

福岡市 IoT コンソーシアム（FITCO）実施イベント・報告書

報告：特定非営利活動法人 九州組込みソフトウェアコンソーシアム

■ イベント開催日程

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
IPA 共催セミナー	FITCO キックオフ	農業 IoT セミナー		逆見本市 (1)	逆見本市(2) FITCO 報告会連動 IoT 講演会 北海道×福岡ベンチャー交流会 ビジネスマッチング交流会

■ イベント概要（報告対象のイベント）

1. IPA・QUEST・FITCO IoT 共催セミナーin 九州 ～IoTで築く九州デジタルイノベーション～

- 日時：平成 28 年 10 月 3 日（月）13：30～17：30
- 場所：福岡県 Ruby・コンテンツ産業振興センター 5 階 セミナールーム A・B・C （参加者：116 名）

2. 福岡市 IoT コンソーシアム・FITCO キックオフ・イベント

- 日時：平成 28 年 11 月 29 日（火）13:30～18:30
- 場所：福岡 SRP センタービル・2F ホール（定員：約 160 名）

3. 農業 IoT セミナー ～農業関連産業で IT/IoT をどう生かすか？その課題と未来を考える～

- 日時：平成 28 年 12 月 19 日（月）13:00～16:00
- 場所：福岡 SRP センタービル・2F（参加者：91 名）

4. IoT テクノロジー逆見本市：第 1 回

- 日時：平成 29 年 2 月 10 日 14:00～16:00
- 場所：福岡県 Ruby コンテンツ産業振興センター（参加者：6 名）

5. IoT テクノロジー逆見本市：第 2 回

- 日時：平成 29 年 3 月 14 日 10:30～12:00
- 場所：福岡 SRP センタービル・2F（参加者：6 名）

6. IoT 講演会 ～ IoT ビジネス最前線 ～（FITCO 成果報告会連動企画）

- 日時：平成 29 年 3 月 14 日（火）13:00～14:45
- 場所：福岡 SRP センタービル・2F（参加者：55 名）

7. 北海道発ベンチャー × 福岡ベンチャー交流会（FITCO 成果報告会連動企画）

- 日時：平成 29 年 3 月 14 日（火）14:45～15:25 （第二部交流会：17:45～19:00）
- 場所：福岡 SRP センタービル・2F（参加者：55 名）

<事項より詳細>

1. IPA・QUEST・FITCO IoT 共催セミナーin 九州 ～IoTで築く九州デジタルイノベーション～

■日時：平成 28 年 10 月 3 日（月）13：30～17：30

■場所：福岡県 Ruby・コンテンツ産業振興センター 5 階 セミナールーム A・B・C （参加者：116 名）

■主催/共催：IPA/SEC（情報処理推進機構）、QUEST、FITCO

■プログラム：

オープニング：（公財）九州先端科学技術研究所 副所長 村上 和彰氏

第 1 部 講演

基調講演：SEC 所長 松本隆明氏 「システム思考によるオープンイノベーションの実現」

IoT 技術講演：SEC 研究員 小崎光義氏 「IoT 時代の価値を支えるセーフティ・セキュリティを考慮した開発」

IoT 先端事例講演：（株）インテック 中川郁夫氏 「デジタルイノベーション～ IoT/BigData がもたらす市場の変革」

第 2 部 パネルディスカッション（IoT で築く九州デジタル・イノベーションの成功の道を探る）

テーマ：IoT で築く九州デジタル・イノベーションを成功させるには」

モデレータ：九大名誉教授 村上 和彰 氏

パネリスト：IPA IPA/SEC 所長 松本隆明 氏

：（株）インテック プリンシパル 中川郁夫 氏

：福岡市 経済観光局部長 今村寛 氏

：（株）ふくおかファイナンシャルグループ 経営企画部部長 河崎幸徳 氏

：（株）グルーヴノーツ 代表取締役社長 最首英裕 氏

：（株）ハウインターナショナル 取締役 CTO 高橋剛 氏

■所感：IPA/SEC と FITCO の連携事業として開催。

IoT で築く九州デジタル・イノベーションと称して、IoT 時代のセキュリティ、AI の活用などを交えつつ講演とパネルディスカッションを開催。

講演ではデジタル・イノベーションの時代ですますます重要になったセキュリティに関して、さまざまな事例とともに解説と、具体的な対応指針が解説された。

特にパネルディスカッションでは、IoT と AI が進化することによりビジネスとサービスが劇的に変わり、ビジネスモデルと仕組みの破壊と創造を避けることができないのであれば、積極的にどう取り組むべきかなど、アグレッシブな議論が成され、参加者の満足度も大変高いイベントとなった。

■アンケート：（代表的なコメントを抜粋）

- ・未来を見越した社会を考えると参考になった
- ・とてもためになりました
- ・今後の取組のヒントを貰えて良かった
- ・デジタルイノベーションに役割があるという話は面白かった
- ・今後も同じようなイベントをお願いします

■会場写真



2. 福岡市 IoT コンソーシアム・FITCO キックオフ・イベント

- 日時：平成 28 年 11 月 29 日（火）13:30～18:30
- 場所：福岡市早良区百道浜 2-1-22 福岡ソフトリサーチパーク 2F ホール（定員：約 160 名）
- 主催：FITCO
- 概要：FITCO のキックオフ、最初のイベントとして開催。FITCO の運営から福岡市（合野理事）、ISIT（副所長 村上 和彰氏）からの FITCO への期待を皮切りに、経済産業省からの IoT 推進ラボについて説明。
続いて FITCO の運営の説明を ISIT 坂本氏にて行い、会長への村上氏の就任も発表。
中盤では、1 月開催のウェアラブル EXPO 出展をかけたピッチコンテストを開催し、8 社にプレゼンテーション戴きました。
後半の目玉として、IoT の雄、アマゾンウェブサービスジャパン株式会社様からアマゾン IoT プラットフォームに関してのご講演を戴きました。
イベントの最後は登壇者との交流兼ねて交流会を開催。100 近くの方々にご参加いただきました。交流会中にピッチコンテストの結果報告もあり、おおいに盛り上がりました（結果は全社出展となり、スポーツセンシング様と、グローブノーツ様が最優秀賞を受賞）

■プログラム：

開会挨拶 福岡市 経済観光文化局 理事 合野 弘一氏
講演 1：FITCO Vision について 九州先端科学技術研究所(ISIT) 副所長 村上 和彰
講演 2：IoT 推進ラボについて 経済産業省 商務情報政策局情報処理振興課 課長補佐 上松 真也 氏
FITCO 事務局よりお知らせ 九州先端科学技術研究所 坂本 好夫
IoT ベンチャーによるピッチコンテスト
株式会社 CenterQ
株式会社 Nayuta
株式会社スカイディスク
株式会社 IndyGo
日本コムクエスト・ベンチャーズ合同会社
株式会社スポーツセンシング : 最優秀プレゼン賞受賞
株式会社 Fusic
株式会社グローブノーツ : 最優秀プレゼン賞受賞
講演 3：アマゾン IoT プラットフォームの紹介及び活用事例
アマゾンウェブサービスジャパン株式会社 西日本担当ソリューションアーキテクト 辻 義一
閉会挨拶 九州組込みソフトウェアコンソーシアム 副理事長 芦原 秀一
交流会

- 所感：FITCO のファーストイベントとして会員からも熱い期待を浴びた中での開催と成りました。
“think together, do together” のメッセージを旗印に、会長の村上氏より FITCO の目的と会員とともに作り上げる価値を熱く語って頂き、待っていたコンソーシアムがようやくできたという意見も頂きました。
各講演、ピッチコンテスト、交流会など参加者の満足度も大変高いイベントとなりました。

■アンケート：(代表的なコメントを抜粋)

- ・ベンチマークとして非常に参考になりました
- ・ピッチコンテストは興味深く為になりました
- ・大変興味深い、面白かった

■会場写真



3. 農業 IoT セミナー ～農業関連産業で IT/IoT をどう生かすか？その課題と未来を考える～

■日時：平成 28 年 12 月 19 日（月） 13:00～16:00

■場所：福岡 SRP センタービル・2F (参加者：91 名)

■主催：FITCO

■プログラム：

第一部 講演会

農業機器メーカーから見た IoT への課題と期待

株式会社オーレック 代表取締役社長 今村 健二 様

IoT/ICT 活用とアグリプレナーの実践・ハッピーマンが描く未来の産地経営

テラスマイル株式会社代表取締役 生駒 祐一 様

IoT による農業情報の収集とその利用

九州大学 農学研究院 環境農学部門 准教授 岡安 崇史 様

第二部 パネルディスカッション

株式会社オーレック 社長 今村 健二 様

テラスマイル株式会社 代表 生駒 祐一 様

株式会社サルフォルセ 代表 久池井 博 様

九州大学 准教授 岡安 崇史 様

ツカサ電工 専務取締役 勝野 敏様 様

■所感： 農業と IT/IoT をテーマに、農業機器メーカーからオーレック・今村社長様にご登壇頂き、IoT 化の課題と期待に関して本音でのご意見をお話いただきました。技術的な問題はともかく、地域の農家で導入するためには、コストを考慮した IoT でないと受け入れられない点などを含めさまざまな課題をご指摘頂きました。

続いてのテラスマイル・生駒様からは、情報を如何に農業の利益（ビジネス）に結びつけられるかなど、事例を多数交えながら、わかりやすくご講演いただきました。

九州大学・岡安先生からは農業情報を収集するための仕掛けや仕組みを実際の研究内容などを交えながら具体的にお話いただきました。

第二部では、農産物売る立場のサルフォルセ・久池井様、農業でも導入が進みつつあるドローン関連企業のツカサ電工・勝野様にもご参加いただき、パネルディスカッションを開催。IoT 活用に関しての熱い討議がなされ、参加者の満足度も大変高いイベントとなりました。

■アンケート：(代表的なコメントを抜粋)

- ・ IoT の活用には多くの課題があり、整理・分析が必要と認識致しました
- ・ IoT に合わせた農場づくり
- ・ ソフト技術者として、ユーザの声が聴けてよかった

■会場写真



4. IoT テクノロジー逆見本市（第1回：EMS-JP）

- 日時：平成 29 年 2 月 10 日 14:00～16:00
- 場所：福岡県 Ruby コンテンツ産業振興センター（参加者：6 名）
- 主催：FITCO
- 概要：EMS-JP（ハードウェアの共同受託、開発、企画を行うコンソーシアム）からシリコンアーティストテクノロジーとパナソニックアクセルプロダクツからニーズを出展いただき、地場の企業から技術と製品を提案

IT/IoTものづくり逆見本市 企業ニーズ調査票	
企業名	EMS-JP （品川企業グループ・コンソーシアム・株式会社）
URL	http://www.ems-jp.net/
業種	製造業、建設業、サービス業、情報業、流通業
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1 （本社：千代田区）
1. シーズを持つ企業に求めることや期待、その他のメッセージ	
2. 期待するニーズ（比較的短期間でのもの）	
3. 期待するニーズ（ある程度中長期的なもの、継続的な関係など）	
4. その他	

企業ニーズ調査票

<技術提案企業>

- | | | |
|----------------|----------|---|
| (1) ミックステクノロジー | 社長 玉ノ井 様 | http://mix-tech.jp/ |
| (2) Code-Q | 社長 藤懸 様 | http://www.code-q.jp/ |
| (3) BELDesign | 社長 齊藤 様 | http://www.beldesign.co.jp/ |

<シーズ出展企業>

- | | |
|----------------------|-----------|
| (1) パナソニックアクセルプロダクツ | (PSP)：太田氏 |
| (2) シリコンアーティストテクノロジー | (SAT)：立石氏 |

- 所感：各社の自己紹介に始まり、シリコンアーティストテクノロジー（立石氏）からのニーズの説明に、提案企業の方々が技術提案を説明する流れで実施。
最後は、様々なカレント案件への、手持ちの技術での解決のアイディアを出す、座談会形式で行い、今後も継続して情報交換しつつ、ビジネスにしましょうということに。
マッチングの第一段階としては、一定の成果はあったと判断できそう。

■会場写真（及び新聞記事）



5. IoT テクノロジー逆見本市（第2回：NEC IoT システム事業開発センター）

- 日時：平成 29 年 3 月 14 日 10:30～12:00
- 場所：福岡 SRP センタービル・2F（参加者：6 名）
- 主催：FITCO
- 概要：日本電気株式会社（マーケティング・ニュービジネス本部・IoT 事業開発センター長 岡ノ谷 国典 様）からニーズを出展いただき、地場の企業（3 社）から技術と製品を提案



企業ニーズ調査票

<技術提案企業>

- (1) デンシンソフトウェア 中原様 <http://denshin-software.co.jp/>
- (2) code-Q 藤懸様 <http://www.code-q.jp/introduction.html>
- (3) SCSK 九州 石井様 <http://www.scsk-kyushu.co.jp/>

<シーズ出展企業>

- (1) 日本電気株式会社（マーケティング・ニュービジネス本部・IoT 事業開発センター長 岡ノ谷 国典 様）

- 所感：第二回目は各社 30 分ずつで時間を分け、個別の交渉の場を設定し開催。NEC のニーズ（IoT 関連の無線、医療、スポーツ系の技術）に関する説明に続き、各社の得意分野の技術の説明と、具体的な商品の説明（SCSK 九州はデモも実施）。NEC から、どのような提案を貰えればビジネス連携を検討しやすいかについてのコメントも戴いた。前回同様に積極的な意見交換となり、今後へ繋がる貴重な機会になったと参加企業からも感想を頂きました。

■会場写真（及び出展企業の案内/HP）



6. IoT 講演会 ～ IoT ビジネス最前線 ～ (FITCO 成果報告会連動企画)

■日時：平成 29 年 3 月 14 日（火） 13:00～14:45

■場所：福岡 SRP センタービル・2F (参加者：55 名)

■主催：FITCO

■概要：FITCO の平成 28 年との活動報告会との連動企画として、IoT 関連大手企業である NEC と、IoT/M2M/組込みデバイスで 15 年前から市場を牽引する地方ベンチャー・アットマークテクノにご登壇いただき、九州地域の中小企業、ベンチャー、ものづくりの興味を持つ方々に向け、IoT ビジネス創造のヒントを掴んでもらうイベントとして開催

■プログラム：

FITCO 活動報告 (FITCO 会長 村上 和彰)

講演会

NEC の IoT ビジネス戦略とオープンコラボレーション

日本電気株式会社 (マーケティング・ニュービジネス本部・IoT 事業開発センター長 岡ノ谷国典様)

ARM とともに 15 年、アットマークテクノの IoT 戦略

株式会社アットマークテクノ (代表取締役 實吉 智裕 様)

■所感：電機メーカとして 100 年以上の歴史を持ち、IoT/IT メーカとしてワールドワイドにビジネスを推進している日本電気株式会社・NEC から、IoT 事業開発センター長の岡ノ谷様にご登壇いただき、IoT 戦略と、現在進めている首都圏ベンチャーとの連携事業などに関してご紹介頂いた。また、一社単独ではなく、スピード感のあるベンチャーとの連携は大手企業にとっても、大きなビジネスチャンスを生み出すとのお話もあり、聴講の方々にとって、チャンスと期待を感じさせるものでした。

また、北海道のベンチャーとして、IoT の名前がまだない黎明期から、今話題のプロセッサ ARM に着目し、組込み業界のデファクトスタンダードのボード型コンピュータ Armadillo を製品化し、業界をリードしてきたアットマークテクノの創業者である實吉様より、同社が IoT ビジネスをどう立ち上げたかの具体的なお話や、技術に関する考え方、どのように市場に浸透させていったかなど興味深いお話をご説明戴けた。

■アンケート：(代表的なコメントを抜粋)

- ・スタートアップ企業の勢いを感じました
- ・ビジネス化のポイントの話がためになった

■会場写真



7. 北海道発ベンチャー × 福岡ベンチャー交流会 (FITCO 成果報告会連動企画)

■日時：平成 29 年 3 月 14 日（火） 14:45～15:25 （第二部交流会：17:45～19:00）

■場所：福岡 SRP センタービル・2F (参加者：55 名)

■主催：FITCO

■概要：IoT 講演会に続く形で、東京（NEC）、北海道（アットマークテクノ）、福岡（F-PAL）それぞれの地域の IoT 企業にパネラーとして登壇いただき、地域連携、大企業と中小とで連携する場合に必要なことなどに関して意見を頂きました。

また、全イベントの最後に、登壇者交えた「ビジネスマッチング交流会」を開催。講演会で聞き足りない内容、ビジネスの話など、幾つかの具体的商談もできていたようであり、開催意義がありました。

■パネラー：【東京代表】日本電気株式会社（マーケティング・ニュービジネス本部・IoT事業開発センター長 岡ノ谷 国典 様）
【北海道代表】株式会社アットマークテクノ（代表取締役 實吉 智裕 様）
【九州代表】F-PAL（立石 圭太 様）

■テーマ：（1）技術をビジネスに結び付けるために何が必要か？
（2）地域間連携及びコミュニティの活用意義
（3）大企業と中小連携にどのようなメリットがあるか？
（4）またその問題点は（権利、知財、財力）
（5）九州の IoT 産業への期待

■所感：大手電機メーカ（NEC）が、現状の市場の流れ（スピード感など）に関して、対応することの難しさと、その裏返しとしてのベンチャーへの期待を語って頂いた。

また、アットマークテクノ・實吉さまからは、地域連携と行っている段階ではだめで、先にどんどん進み、必要であれば連携していくという（連携有りきでは駄目）コメントは FITCO の活動にとっても考えるべきことに考えられた。

また、福岡と北海道双方でのビジネスを進めておられる F-PAL・立石さまからの、尖った技術あってこそその競争力と、要件を断らずに何かの答えを依頼元に返すというポリシーにも、これからの創業企業にとって学ぶべきことであると思いました

■アンケート：(代表的なコメントを抜粋)

- ・スタートアップ企業の勢いを感じました
- ・ビジネス化のポイントの話がためになった

■会場写真

